

保険料・利用料の軽減  
福祉施設の増設など

# 安心して利用できる**介護保険**へ改善を！

## 野田内閣 税と社会保障の一体改革では「介護保険の負担増」と「サービスの切り下げ」

「介護保険料の負担が大変」「いざサービスを利用しようとしても利用料が高く、受けることができない」「施設への入所を申し込んでいるが、数百人待ちで何年先になるのかわからない」。こうした相談が多く寄せられています。

しかし、野田内閣のもとで進められている税と社会保障の一体改革では、年金が引き下げられるとともに、右表のように、介護保険の改悪が目白押しです。

	(現行) ⇒ (改悪後)
要支援1,2 	1割負担 ⇒ 2割負担
ケアプラン作成 	無料 ⇒ 毎月1000円
年金320万以上の人 	1割負担 ⇒ 2割負担
2~4人部屋の室料 	月1万円 ⇒ 18000円程
低所得者の施設入所利用料軽減 	家や預貯金で制限
要介護1,2の施設入所者 	1割負担 ⇒ 一部2割負担

## 施設の増設は急務！入居待機者の早期解消を！

施設種別	2011年度	2014年度	第5期計画数
◆小規模多機能型居宅介護拠点	46施設	64施設	18施設
◆認知症高齢者グループホーム	632床	812床	180床
◆特別養護老人ホーム全体	1807床	2129床	322床
(内訳)			
小規模(29床以下)	165床	252床	87床
大規模(30床以上)	1642床	1877床	235床

上表は、熊本市における今後3年間の各種施設の整備計画です。

市内には約3000人の入居待機者がいるとの試算もあるなかで、抜本的な施設の増設が求められます。

全国的には特別養護老人ホームの

待機者は約42万人。待機者解消のために必要な予算は約4000億円です。「大企業減税」や「株で得た利益に対する減税」が年間約2兆円ですので、減税分の5分の1を、介護施設の増設に充てれば、待機者の解消を図ることができます。

## 熊本市「第5期はつらつプラン」 1000円以上の値上げで保険料は5000円超に

現在、熊本市は「第5期はつらつプラン」を策定しています。そのプランによれば、今年4月からの介護保険料は、現行4200円から5250円～5300円(1050円～1100円増)となることが試算されており、3月議会に提案される予定です。

安心して介護サービスが受けられるよう、国の負担を増やし、保険料の軽減を図るべきです。また、熊本市としても保険料・利用料の減免制度を拡充し、負担軽減を図ることが求められます。



日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 785

2012年1月22日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

【控室から】  
「龍の雲を得るが如く」

上野 みえこ

先日、通っているお稽古場の「初釜」がありました。床には、「四海波平龍静眠」の一行、紅白の椿に柳が飾られていました。一服のお茶に、心引き締まる時間を過ごしました。昨年は、未曾有の大災害もありましたが、軸の一行にもあるように、「平穏な」一年でありますようにと願わずにはいられません。

しかし、昨年来、急速に高まる消費税10%への増税の論議や社会保障の一体改悪、TPP参加、普天間基地移設問題など、いのち・暮らしにかかわる重要な問題が、国民の意向とは裏腹に、強行にすすめられようとしています。今年も、年頭から心穏やかではありません。

日本共産党は今年、創立90周年の節目の年です。歴史を切り開いて行く力をつけ、来るべき総選挙での躍進、早々に行われる知事選でも、住民の暮らし優先の県政への転換を求めて、「龍の雲を得るが如く」、元気に頑張っていきたいと思っております。

みなさまのお力添えをお願いいたします。

# 3,000 人収容の大型会議場建設を推進する 「中心市街地活性化基本計画」に市民の理解は得られません！

## 「ハコモノ」でなく、真に商店街の賑わいにつながる計画に！

2012 年度から 5 年間の中心市街地活性化の推進方向を定める「中心市街地活性化基本計画 2 期計画」の策定が進められています。

昨年 12 月 21 日に開催された「中心市街地活性化特別委員会」の上野みえこ議員の質問で、事業費や規模などが明らかになりました。

## 見直しの中心は、大型会議場建設 事業費は 100 億円以上

計画見直しで中心となるのは、多額の費用を必要とする「3,000 人収容の大型会議場建設」です。

事業費は、建設費だけで約 100 億円が想定されています。加えて土地代相当が、さらに数十億円必要です。（積算根拠は、札幌市などの同規模施設の建設費用が約 100 億円であること）施設規模は、同じく札幌コンベンション施設 20,000 m<sup>2</sup>を参考に、同程度が見込まれています。



## 利用目標：3,000 人規模年間 20 件 達成できるか疑問

利用目標は、3,000 人規模のコンベンションを年間 20 件開催するとしています。しかし、他都市における 3,000 人規模のコンベンション開催状況は、大阪 173 件、名古屋 111 件、京都 27 件と、古くからの政令市では一定の開催実績がありますが、最近政令市になった岡山市での開催実績は、わずか 8 件です。

熊本市は、他都市の状況を参考に開催実績を想定したといいますが、達成できるのか、大いに疑問です。

このように、必要性の薄い「大型会議場建設」を見直しの中心に据えた「2 期中心市街地活性化基本計画」では、新たな「ハコモノ」建設のムダにつながります。

中心市街地の活性化は、「ハコモノ建設」の推進でなく、真に中心商店街の活性化につながるような計画とすべきです。

## 3,000 人収容の大型会議場建設に、市民の声は「ノー」

日本共産党市議団の「市民アンケート」に寄せられた意見

（今ある施設を利用すべき・87%、建設賛成・4%、その他・10%）

- ・ ハコモノはいらない。見栄を張ることはない。市民のことを考えてほしい。
- ・ 市の施設を作り直すことを安易に決めてほしくない。市役所より新しい産文を生かして使うことをなぜしないのか。建物は使わないと痛むことを考えて欲しい。今からでも使うことを望む。
- ・ 3,000 人収容の会議などまれ。小回りの会場を手ごろの費用で借りたい。産文のそばを通るたびにもったいない、壊すお金もかかるのに、と思う。
- ・ 税金のムダ使いやめてほしい。100 億円の会議場は要らない。維持費ももったいない。
- ・ 桜町に予定のハコモノは必要ない。現存の施設で充分。絶対反対する。
- ・ 産業文化会館は、なぜ閉じたのか。市民会館のように改修し使ってほしい。
- ・ 金もつぎ込み、4 年を経て何の成果もない「花畑町再開発」は死に体であり、行政頓挫の恥ずかしい見本。昔風に言うなら「切腹もの」です。責任の所在を明確にし、市は直ちに事業から手を引き、産文は必要な改修をして、直ちに利用を再開させるべきです。

## 「2 期中心市街地活性化基本計画（素案）」のパブコメに意見を！

<意見の募集期間> \*「素案」は、HPや市役所・市民センター等で閲覧できます。

平成23年12月26日（月）～平成24年1月26日（木）

<意見の提出先・提出方法> 必須項目（氏名、住所、電話番号、職種）を明記

(1) 電子メール [toshinkasseisuishin@city.kumamoto.lg.jp](mailto:toshinkasseisuishin@city.kumamoto.lg.jp)

(2) 郵送 〒860-8601 「熊本市都心活性推進課」行き (3) FAX 359-6978